



川崎大師ロータリークラブ週報

例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~

第 39 期

会 長 増田 昌美

副会長 竹中 裕彦

村石 庄作

幹 事 武者 恵吾

S A A 白石 浩司

事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 1887 回 (本年度 第 2 回) 例会 平成 23 年 12 月 14 日 曇り

- 司会 白石 浩司 SAA
- 点鐘 増田 昌美 会長
- 斉唱 「奉仕の理想」
♪ソングリーダー 石川 庸リーダー

卓話者紹介 増田 昌美 会長
川崎市立富士見中学校 校長 青山 正彦様

来訪ロータリアンの紹介 岩井 茂次 親睦委員長
川崎 RC 大田垣 耕造 様

会長報告 増田 昌美 会長

1. 11 月の出席率が 83.3%となりました。出席委員会
ご苦労様でした。
2. R I ロータリー財団より「ロータリーの 2 億ドル
チャレンジ (ポリオプラス寄付)」への寄付に対し
て感謝状が届いておりますので報告します。
これは、大藪年度から 4 年間で \$ 6000 以上が目標
で、今年度、残りの \$ 2000 を寄付し \$ 6000 達成し
ました。
3. ガバナー事務所から「2011-12 年度 地区ロ
ーターアクト海外研修報告書」が届いておりますの
で回覧させていただきます。
4. ロータリー囲碁同好会主催「第 13 回ロータリー国
際囲碁大会」の案内が届いています。
2012 年 3 月 3 日~4 日 神戸ポートピアホテル内

特設対局室

5. 川崎大師様より来年のお護摩と節分会豆まき式の申
し込みに多くのかたの参加をお願いします。

幹事報告 鈴木 昇二 副幹事

1. 今年の信徒会館での例会は本日が最後となります。
次週 12 月 21 日 (水) は年忘れ移動家族会ですの
でお間違えのないようお願いします。
日時: 12 月 21 日 (水) 18:00 点鐘
場所: ホテル インターコンチネンタル東京ベイ
なお、12 月 28 日 (水) と来年 1 月 4 日 (水) は
指定休会日で、年明け第 1 回目の例会は 1 月 12 日
(木) 川崎日航ホテルでの 4 クラブ合同例会とな
ります、こちらもお間違えのないようよろしくお願
いします。
2. 台北西門 RC から会員の皆様のサイン入りクリスマ
スカードが届いておりますので、回覧します。
3. 12 月 7 日 (水) に開催した第 6 回理事会の議事録
をポストに入れてありますのでご参照願います。
4. 年明け最初の行事は 1 月 4 日 (水) の「第 1 回献血
推進活動」となります。
多くの会員の参加をお待ちしておりますのでよろ
しくお願いします。
日時: 1 月 4 日 (水) 10:00~15:30
(午前・午後)
場所: 京浜急行川崎大師駅前広場
5. 川崎市 市民・こども局スポーツ室より「JAPANA
X BOWL」の招待券が 5 枚届いております。

観覧希望の方は事務局まで連絡をください、早いもの順とさせていただきます。

日時：12月19日(月) 19:00キックオフ
場所：東京ドーム

出席報告

船木 幸雄 委員長

通算	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1887回	59	50	26	24	52.00%
1885回	59	52	37	15	71.15%
前々回の修正・メイクアップ			2	修正出席	75.00%

メイクアップ

鈴木 幹久、竹田 正和 各会員

11月度出席順位

- 325% 武者 恵吾 幹事
- 275% 増田 昌美 会長
- 250% 飯塚 元明 会員
- 225% 沼田 直輝 会員
- 200% 牛山 裕子 会員
- 175% 船山 昭三、中村 眞治、村石 庄作、
水口 衛、小林 勇次 各会員
- 150% 竹中 裕彦、横山 俊夫、石川 庸、
渡辺 富士夫、白石 浩司、鈴木 昇二 各会員
- 125% 野沢 隆幸、岩井 茂次、石渡 勝朗、
船木 幸雄 各会員

ホームクラブ100%

船山 昭三、中村 眞治、竹中 裕彦、
増田 昌美、横山 俊夫、村石 庄作、
渡辺 富士夫、白石 浩司、岩井 茂次、
鈴木 昇二、武者 恵吾、水口 衛
船木 幸雄、飯塚 元明、沼田 直輝
各会員

スマイルレポート(ニコニコボックス)

川崎RC 大田垣 耕造 様

本日は、お世話になります。

船山 昭三 会員

11月の出席率が83.30%になりました。皆様の協力に感謝いたします。

宮山 光男 会員

今年も残り少なくなってきました。会員の皆様、体調に注意してガンバリましょう。

島岡 榮基 会員

青山校長の苦勞話を拝聴させていただきます。

横山 俊夫 会員

本日の卓話楽しみにしています。

清水 宏明 会員

フジサンケイグループ主催の「イノベーションズアイアワード2011」というビジネスコンテストで全国211社中大賞(1位)の成績をおさめる事ができました!

増田 昌美 会員

青山さんご無沙汰してます。今日は宜しくお願ひします。

竹中 裕彦 会員

- 1) 本日午前中は、社会奉仕委員会の皆様お疲れ様でした。金曜日に川中島中での講師の皆様頑張って下さい。
- 2) 青山さん、本日は卓話宜しくお願ひ致します。

本日のニコニコのテーマ

「ロータリーは家族、家族あつてのロータリーを楽しみましょう。」

- ♪石川 庸 ♪谷澤 幹男 ♪石渡 勝朗 ♪船木 幸雄
- ♪小林 勇次 ♪伊藤 佳子 ♪坂東 保則 各会員

合計¥37,000-

委員会報告

社会奉仕委員会 清水 宏明 委員長

・平成24年1月4日に川崎大師駅前にて、献血推進運動を行いますのでご協力をお願い致します。



・本日「市立学校と共に行う地域環境美化・保全活動」は、あいにくの雨のため中止となりましたが、増田会長・竹中副会長・秦委員長と私で田島養護学校へ清掃用具を寄贈致しました。



親睦奉仕委員会 岩井 茂次 委員長

・来週の家族会に信徒会館より送迎バスを出すことになりましたのでご利用の方はご連絡下さい。

卓話者紹介 横山俊夫 プログラム委員長

川崎市立富士見中学校 校長 青山 正彦様

略歴 1975年4月 川崎市役所入所
財政局、総務局、市民局に勤務
2011年4月から教育委員会担当部長 兼
川崎市立富士見町学校校長
川崎の公立中学校では初めて市長部局からの校長として就任する。

卓話

「公立学校の魅力と課題」

富士見中学校に今年4月に着任してから9ヶ月が過ぎようとしています。戦後の学制改革による新制中学校の歴史は64年になりますが、川崎市でのいわゆる「民間校長」の採用は初めてケースとしていやが上にも目立つ存在でスタートとなりました。今日は公立学校という存在がもつ魅力・特徴と課題についてお話しします。



第一には「地域に根ざした」ということが、公立学校の第一の特徴となります。校区の枠が取り払われた学校選択制などもありますが、一般的には小学校や中学校の校区は、ある種のまとまりや繋がりを持った「地域」を基盤としています。公立学校は様々な人々が暮らす「地域の学校」として存在し発展をしてきています。公立学校が持つこの性質は、「ある教育理念・方針への賛同にもとづく選択」を旨とする私立学校の原理ときわめて対照的なものであります。「地域に根ざした」公立と「選択にもとづく」私立。公立学校は「コミュニティ＝生活共同体」としての性格を強くもち、一方の私立学校は「アソシエーション＝結社」としての色彩を強く帯びると位置づけられます。

第二の「平等性」。これも、第一の特徴と関連した重要な側面であります。その地域に住む全ての人に対して門戸が開かれていること。誰もが望みさえすればその学校に入ることが出来ることとなっています。今日の日本には、様々な理由・経緯でたくさんの「ニューカマー」外国人が居住するようになってきており、多くの子どもたちが日本の、そして川崎の公立学校に在籍しています。それは、この平等の原則によるところが大きいとされています。経済的な障壁があれば、というよりそれ以前に「外国人は入学を認めない」といった制度的な障壁があれば、子どもらはそもそも日本の学校に入ることができず、決して安価ではない「民族学校」に通うしか選択肢がなくなってしまいます。「未就学」状況をつくらないためにも、様々な国の人と多様な文化を育み、暮らしを豊かにするためにも、公立学校の役割＝魅力は重要であると言えます。

第三の「多様性」。これは最も大事にしていきたいポイントであります。ここで言う「多様性」とは、「そこにはいろいろな人がいる」という事態を指し、端的に言うならば「いろんな人がいるからこそ、公立学校は多様でおもしろい」そう言う魅力を持った学校と言えます。

第一の特徴にあります「地域」には、多様なバックグラウンドやライフスタイルや経歴をもつ、様々な階層に属する人が住んでいます。そして彼らの子どもたちの多くが、地元の公立学校に入学をします。たまたま出会った公立学校の教室のなかで、彼らは、ぶつかり合ったり、助け合ったりしながら、そして、様々なタイプの教職員や大人たちとも係わりながら、自分なりの成長を遂げていくこととなります。公立学校の「多様性」は、「異質なもの同士の相互作用」を引き起こし、新たなものを生み出すダイナミズムは、公立学校が有するかけがえのない魅力だと思っています。

「地域に根ざした、平等で多様性」をもつ公立学校では、たくさんの友人と教職員との出会い、日々の学習のなかで培った基礎的な学力、様々な活動や行事の

なかでの成功・失敗体験、部活や受験で得た教訓、自分とは違う考えや感覚をもった他者との付き合いなど、これらの長所・特徴をもつ公立学校での「互いの違いを認め合い尊重する」ジェントルハートの活動の趣旨を活かすことは、意義深いものと思っています。

自分が価値ある存在であると感じていること、自分自身に対して肯定的な感情をもつこと、「不完全な自分で失敗もたくさんするけれども、精一杯自分らしく生きようとしている大切な自分」の姿を受け入れられるとき、ほかの人の「不完全さ」や「失敗」も、きちんと受けとめやすくなるといわれます。

たまたまの縁で出会ったもの同士が、同じ場所で長い時間を過ごしていくなかで何かをつくりあげていくのが、教育であるとするならば、公立学校は、それがなされるにふさわしい魅力をもった場であります。そのような場でこれまでの行政経験、ジェントルハートプロジェクトやかわさき舞祭の活動経験が活かされれば幸であると思っています。



最後に学校の課題についてですが、大小様々な課題がありますが、根幹的な課題に絞ってお話をいたします。結論から言ってしまうと、「教員に心と時間のゆとり」が必要だと言うことです。

「社会全体で子どもを育てることが重要」と、政府も大きな政策として掲げていますが、その子どもを育てる大人を、社会全体でまず育てるべきと考えます。

大人とは、親、おじいちゃん、おばあちゃん、近所のおじさん、おばさんなど、子どもを取り巻く大人全体ことになりますが、なかでも学校の先生、特に小学校や中学校の先生をもっと社会で育てていくことが先決で、育てる＝応援する と言ったほうがより適切かもしれません。学校に入りますと乳幼児期とは違って、子どもが最も多くの時を過ごす学校で、一番影響を受けるのは学校の先生だからです。改めて言うまでもなく、親であれ先生であれ、心や時間にゆとりがないといい教育は出来ません。時間の余裕があれば子どもと楽しい時間を共有することが出来ます。「ねえねえ、お父さん、お母さん」って、学校で楽しかったことを話ししようとしても、「後でね。」って。親にゆとりがないと、子どもと楽しさを共有したりすることができません。大変にもったいないことです。もっとゆとりが必要だったのは、私たち大人だったのかもしれない。そうだとするならば、「ゆとり教育」とは、皮肉なネーミングでした。

先生たちの置かれている現状は、授業、会議、研修、書類作成、生活指導、部活動と多忙を極めています。不祥事でもあろうことなら、ますます研修と提出書類が山となります。子どもと係わる時間や授業の準備時間は削られ続けています。

誤解を恐れずに申し上げます。教員の質に関する問題であるならば、親にも、民間人にも、国家・地方公務員にも、マスコミにも、政治家にも同等の方はいらっしゃるでしょう。教員だけがそのことで責められるのは、公平性に全く欠くものだと思います。言うまでもなく教育は国の礎です。社会全体で教員を責めるよ

うな国に、教育の未来はあるのでしょうか。国の礎である、教育を担う教職員を応援せずして、果たしてこの国の未来はあるのでしょうか。良くしたいのなら…。本当に良くしていきたいのであれば、普通だったら応援をしますよね。

公立学校は地域に根ざした教育施設であり、そこに通う子どもは、地域社会・大人社会の鏡であります。

教員ではない校長の私の大事な任務の一つとして、努めて客観的に学校の現状を多くの皆さんにお伝えし、たくさん応援をしていただこう。そして、地域とともに発展する学校づくりをしていきたいと考えております。

今日は川崎大師ロータリークラブの皆さんに、お話しさせていただき貴重な機会を与えて頂きました。

ロータリークラブは、本来のお仕事に加えての活動として、友情と寛容の心を育み、心に平和を見出し、家庭の平和、地域の平和、世界の平和を希求する非凡な組織の皆様方と伺っております。是非とも、教育について、とりわけ学校教育につきまして、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。拙い話でありましたが、終わらせて頂きたいと思っております。

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

次回例会

平成24年1月12日(木)

新春4クラブ合同例会

川崎日航ホテル 12:30点鐘

: クラブ会報委員会 :

岩崎寛/川又竜志郎/久保博和/沼田直輝

当月例会数 4

11月度出席報告

氏名	例会数	ホクム	メアム	出席率	ホームクラブ 100%	氏名	例会数	ホクム	メアム	出席率	ホームクラブ 100%
寺尾 巖	4	1	0	免3回		矢野 清久	4	3	1	100	
布川 二三夫	4	3	0	免1回		仲川 文則	4	1	0	25	
久保 栄弘	4	1	0	免3回		岩井 茂次	4	4	1	125	○
長島 亨	4	3	1	100		岩崎 寛	4	2	1	75	
船山 昭三	4	4	3	175	○	鈴木 昇二	4	4	2	150	○
島岡 栄基	4	3	0	免1回		伊藤 佳子	4	3	1	100	
遠藤 悦弘	4	2	0	免2回		武者 恵吾	4	4	9	325	○
鈴木 幹久	4	2	2	100		石渡 勝朗	4	3	2	125	
宮山 光男	4	3	0	75		水口 衛	4	4	3	175	○
野沢 隆幸	4	3	2	125		須山 文夫	4	2	2	100	
林 鶴	4	3	1	100		川又 竜志郎	4	1	0	免3回	
安藤 賢一	4	2	2	100		秦 琢二	4	2	0	50	
小泉 敏和	4	1	0	25		小林 勇次	4	3	4	175	
荒金 眞弘	4	2	0	免2回		牛山 裕子	4	3	5	200	
嶋崎 嘉夫	4	1	0	25		尾崎 昭元	4	1	0	免3回	
炭谷 博功	4	2	0	50		坂東 保則	4	3	0	75	
中村 眞治	4	4	3	175	○	須釜 賢治	4	1	0	25	
後迫 太	4	1	0	25		岩田 一弘	4	3	0	75	
細谷 重徳	4	2	1	75		船木 幸雄	4	4	1	125	○
竹中 裕彦	4	4	2	150	○	飯塚 元明	4	4	6	250	○
須藤 宏	4	1	0	25		御手洗征郎	4	1	1	50	
久保 博和	4	2	1	75		鈴木 節夫	4	1	2	75	
増田 昌美	4	4	7	275	○	谷澤 幹男	4	2	1	75	
倉成 保巳	4	1	0	免3回		沼田 直輝	4	4	5	225	○
大藪 善一	4	2	0	免2回							
竹田 正和	4	2	2	100							
横山 俊夫	4	4	2	150	○						
石渡 利治	4	3	0	75							
村石 庄作	4	4	3	175	○						
石川 庸	4	3	3	150							
渡辺 富士夫	4	4	2	150	○						
布野 眞治	4	1	0	免3回							
清水 宏明	4	2	1	75							
白石 浩司	4	4	2	150	○						
岡 眞治	4	1	1	免2回							

11月出席報告
83.30%